

部門/会場	リーダー氏名	サブリーダー 氏名		
10 階 1001 号室	パストガバナー 神崎 茂	地区研修委員	川上 善司	大阪平野
		次年度クラブ奉仕・拡大増強委員長	新居 誠一郎	大阪南
		次年度広報委員長	猪俣 由宇	高槻東
議事録作成者	担当 SAA 宇賀 良太			

開会：(15時 30分)

発表者：神崎 茂 パストガバナー

【記録内容】

『開会』

アサー・シェルトンによってロータリーに『サービス』の理念が持込まれた当時～数年間は、サービスはインターナルサービスとエクスターナルサービスに分けられ、インターナルサービスがクラブの中の奉仕活動を指し、現在 クラブ奉仕という言葉で残っている。クラブ奉仕について CLP ではクラブ管理と運営の部門とのみ書かれているが、その中身は会員増強・職業分類・広報・プログラム・出席・規定・研修・情報…等々多岐に亘る。本日はこの内、研修・広報・会員増強に焦点を絞り討議願う。会員増強は各クラブの努力で少なくとも自然減分の補いを、広報は学生支援等永年の奉仕活動をロータリー以外の方にも認知頂く事が大事。研修に関しては、ロータリーの組織が巨大になり、委員会等が増加し全体把握しにくくなっている。近く規定審議会で根本変革等の議論がなされる予定。会場の皆様への各テーマにおける活発なバスセッションを願ひ、開会のご挨拶といたします。

発表者：峠本 敏夫 次年度クラブ奉仕・拡大増強 副委員長

【記録内容】

『会員増強』

拡大増強委員会では拡大より、まず増強に焦点を絞る。増強が必要な理由は、ロータリーの大きな目標である『人類への奉仕』の実現のため。ロータリーンとしての高い志を持つ仲間を増やし、その知恵と知識と経験を共有し束ねることで人類への奉仕をより力強く幅広いものにしていくことができると考える。2016-17 年度のクラブ奉仕・拡大増強委員会の活動方針は、(1)「小規模クラブや弱体クラブに対するフォローの実施」(2)「各クラブの増強担当者に対するフォローの実施」の2点とし、具体的には、『会員増強セミナーの実施』『各クラブの取組の紹介』『各クラブへの出前卓話』の3つを柱としていきたいと考えています。

発表者：猪俣 由宇 次年度広報委員長

【記録内容】

『ロータリー活動の広報』

【「人々の心に触れた 100 年」RI 公式映像】(映写)

ロータリー広報の目的は、(1)ロータリーを知る (2)ロータリーを伝える (3)公共イメージと認知度の向上(RI 戦略計画の重要項目の 1 つ)の 3 点とし、具体的には①ロータリーの友・ガバナー月信の閲読(特にガバナー月信はより多く・より広く伝えるために IT 化を実施)②My Rotary(世界中のロータリーの活動の閲覧や皆さんから世界に伝えることも可能)の活用③メディアの利用(TV・新聞・HP・例会卓話を使い、素晴らしい事業を広く伝える—メディアへのアプローチ方法については、ガバナー事務所を通じ、地区広報委員会へ相談を)

【NHK、MBS でのロータリーテーマ映像】(映写)

最後に、①IT 化されるガバナー月信の毎月の閲覧②My Rotary の登録と活用③皆様(クラブ奉仕委員長)からクラブの広報委員長への本日内容のお伝えと今後の広報活動のサポートの 3 点についてお願いします。

発表者：川上善司 地区研修委員

【内容】

『クラブ研修』／『クラブ活性化』

ロータリー精神の踏襲と時代の変遷に対する改正を遂げてきたロータリー。当地区も今後発展のための組織作りを目指し、幾つかの地区委員会を設置し推奨している。本日、地区推奨のクラブ奉仕関連の各委員会の目的と運用などについて説明する。(1)地区広報・IT 委員会は、クラブの奉仕プロジェクトのマスター掲載への環境作りとその参考事例投稿、さらに選定(公共イメージ向上寄与)された内容は『ロータリーの友』へ掲載(2)クラブ戦略委員会は、会員減少や会員の高齢化等、先行きへの対応を踏まえ、地区クラブ奉仕・拡大増強委員会、地区広報委員会、地区戦略委員会との活動連携により、戦略的対策を(3)クラブ研修委員会では今年度、新入会員研修会名を『フレッシュロータリアンフォーラム』とし、ロータリーの良さをより深く、ロータリーの精神をより高める機会として 6/17 に開催予定。

ロータリークラブの活性化がロータリー自体の活性化を意味する。クラブ奉仕各委員会は、奉仕活動の目標をしっかりと定め、会員増強やクラブ活性化へ道筋を立て、発展することを願います。

【内容】

【バスセッション発表】テーマ：『会員増強』(IM1 組 箕面 RC / IM8 組 大阪イブニング RC)

昨年、池田くれは RC では会長の優れたリーダーシップと新会員同士の懇親姿勢で 11 名増強実績。箕面中央 RC では高齢化への歯止めとして、若い人と女性入会が大切と考える。箕面 RC では、女性会員(現在全 30 名中女性 4 名)と若い人の入会の流れ(若い仲間の勧誘の連鎖)を重視。例会のテーブルを職業別に分けて、推薦会員の議論を。1~2 ヶ月に 1 回、定期的にゲストを例会に招待し、新入会員候補の斡旋に努め効果が上がっている。

【内容】

テーマ：『クラブ研修』（IM5 組 大阪西北／IM6 組 大阪城北 RC）

大阪北 RC では、情報委員会でも年 3 回、新入会員～中堅へのローター塾を開催。大阪北梅田 RC も年 2～3 回、新入～中堅への研修で知識と懇親を深める。大阪西 RC はクラブフォーラムで知識を深める場を、大阪リバーサイド RC は、インフォーマルミーティングでベテラン等各々が講師を務め、ローターについて考える。大阪梅田 RC では、新しい未経験者が委員長をし、経験者が副委員長となって、情報や経験が伝わる工夫をしている。職業奉仕の中で研修制度を入れ、年数回程度研修を実施。大阪城東 RC は来年 IM のホストクラブで、元 RI 会長の田中作次さんをお招きするので、研修の大きいに参考となる。大阪城北 RC では、会長が情報集会ではなく、毎月 1 回例会時に研修を 3 年未満の方を参加者として実施予定。

【内容】

テーマ：『クラブ広報』（IM7 組 大阪南 RC／IM4 組 東大阪 RC）

広報は、マスコミに発信できる対外活動を如何に充実企画できるかがカギ。各クラブの HP での情報発信や SNS・フェースブック等の利用も有効ではないか。ローターの友で各クラブが何をしているか、より内容の充実を求める。My Rotary の活用の向上と登録の難しさの解消の必要性を感じる。My Rotary の地域バージョン(例えば『チーム 2660 バージョン』)で地区のみ共有ページがあってもよいのでは。ローターの各教科月間に『ローターの友』を活用し、内容周知を。My Rotary は PC 苦手な方は馴染みにくいが、会長さんの啓蒙が熱心なクラブは登録率が高いと感じる。東大阪は毎年 5 月に 4 クラブで市民ふれあい祭のイベントを実施し、広報誌へ掲載。何とかメディアをうまく活用し、ローターの会員増強に結びつけたいと考えている。

【内容】

テーマ：『クラブ活性化』（IM2 組 吹田江坂 RC／IM3 組 守口 RC）

茨木東 RC は出席率が低下気味、対して吹田西 RC は 100%出席が続きクラブによって状況に差がある。茨木西 RC から、会員増強をする前に、ローターを充分理解してもらうことが大事で定着率への影響を指摘。高槻西 RC では例会でのフォロや副委員長への引上げで活性化を実施。クラブ活性化の阻害要因にクラブ運営への偏りを感じる。基本の奉仕を充実させ、やりがいを見出さなければ活性化につながらないだろう。活性化には、クラブ内の人間関係が大事。クラブ歴の長い会員さんからの教示の充実。各委員会で委員長・副委員長だけの動きが見受けられ、各委員全員での活動が大事。『メンバーは家族』の気持ちで、2～3 ヶ月に 1 回、夜の移動例会等で活性化を。

発表者：神崎 茂 パストガバナー

【内容】

『講評・閉会ご挨拶』

クラブ奉仕部門は活動幅の広い部門ですが、少人数クラブの皆さんも色々な問題に真摯に向合い、真面目に解決をはかっておられる姿勢に、さすがロータリーと感じ入りました。

今、ロータリーはあまりにもやるが多すぎ、地区委員会等も増えるばかりで、減るものがない。もっと簡便にわかり易い組織への再編の必要性を感じています。会員増強をはじめ、質の向上をはかるとともに、広報活動で、世の中の人にロータリーをよりよく知ってもらって、ご協力して頂けるための活動が大切ということをお今日の議論の括りとしていたしまして、閉会いたします。有難うございました。

閉会（ 17時 00分）